

## 次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会でのいただいた御意見の概要

### 1 会の名称

第38回岩手県環境審議会

### 2 県側出席者

環境生活部

政策地域部政策推進室

### 3 開催日時

平成30年6月12日（火）13:00～14:50

### 4 主な御意見の概要

- 幸福を実現するための施策展開について
  - ・ 「幸福」は、理念としては非常に素晴らしいと思うが、県民が具体的にどうしたら幸福になれるのかといったところが見えてこない。
- 計画の柱立てに関すること
  - ・ 政策推進の基本方向の環境に関わる箇所の標題を見ると「自然環境」となっているが、内容を見ると、大きく見れば「自然環境」かもしれないが、公害や人が関与する内容が入っており、一般的に「環境」とした方が良いのではないか。
  - ・ 環境分野について、若干記述が少ない気がするので、もっと取り組んでいただきたい。
- 他の計画等との関係について
  - ・ 環境基本計画等の県の他の計画を立てる中でも、総合計画が重要な位置付けとなる。総合計画の柱となる「自然環境」の内容が、環境基本計画においてはどのような考え方で、また、総合計画とどう連動するのか、といった議論をしなければならない。
- 動物に関する記述について
  - ・ 「家族・子育て」の項目の最後に「人と動物が共生できる社会をつくります」とある。おそらくペットのことであり、それらを含めて優しい社会というものをイメージしていると思うが、まさに「自然環境」では野生動物との共生、共存が大きなテーマになると思うので、整理をしてはどうか。
- 地域におけるエネルギー対策について
  - ・ 再生可能エネルギーという名のもとに、かなりの自然破壊が行われている実態もあるように見受けられる。特に風力発電、太陽光パネルもメガソーラーでかなり良好な自然環境のところに建てられる場合が多い。エネルギー計画については、大規模なエネルギーを送電線で引っ張っていくような計画ではなく、地産地消のエネルギー対策というものに本県でも是非取り組んでいただきたい。